

SEPARELは真空モードでも非常に優れた脱酸素性能を発揮します。

膜式脱気において、ppbレベルの非常に高い脱酸素性能を求める場合は、N2ガスをスイープさせつつ減圧をするコンボモードと呼ばれる方式が一般的です。

しかしながら、コンボモードではN2ガス供給に伴い、ランニングコストがかかるほか、N2ガス供給源のためのスペースも必要となります。

SEPARELはN2ガスをスイープさせることなく、真空引きだけで非常に高い脱酸素性能を発揮します。その結果、コンボモードに比べ、インシヤルおよびランニングコストを低く抑えられるだけでなく、スペース・重量においても小型・軽量であるというメリットがあります。



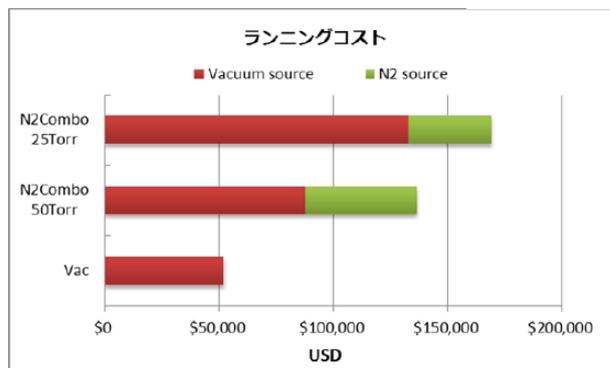
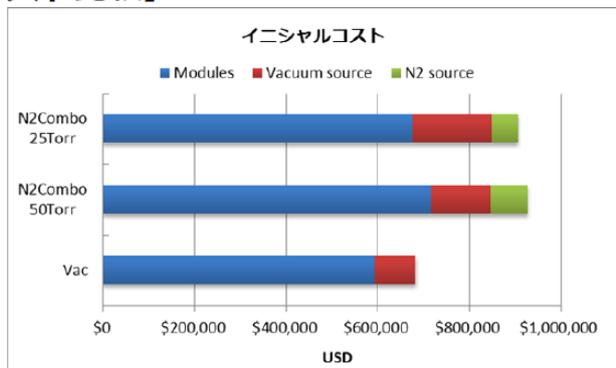
シュミレーション条件		真空モード	N2コンボ 50Torr	N2コンボ 25Torr
	水温 °C	25	25	25
	流量 m3/h	1325	1325	1325
	原水DO µg/L	8110	8110	8110
	脱気率 %	99.3	99.3	99.3
	脱気水DO µg/L	60.0	60.0	60.0

<シュミレーション結果>

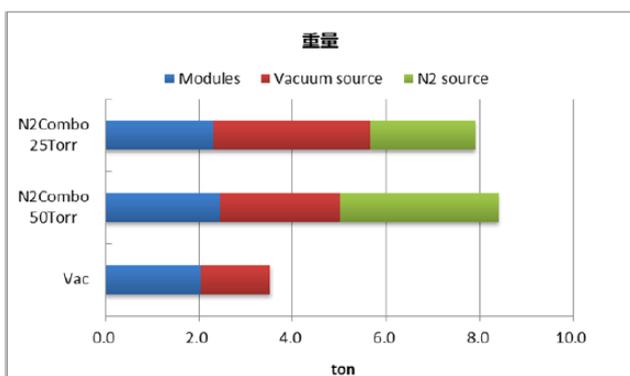
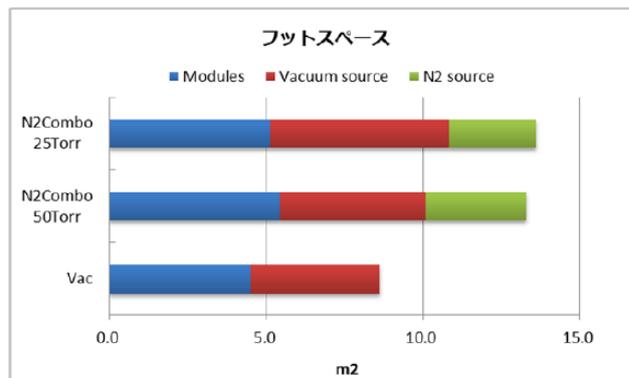
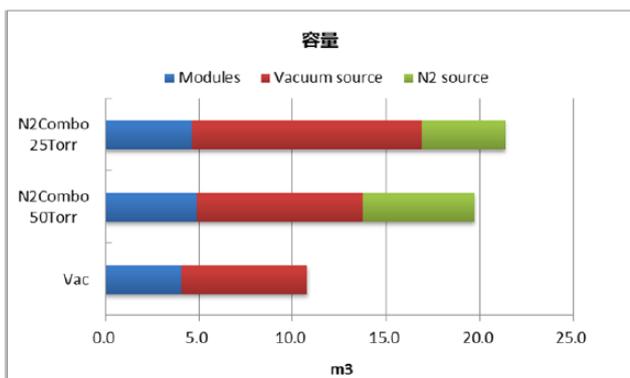
		真空モード	N2コンボ 50Torr	N2コンボ 25Torr
モジュール	品番	EF-120	EF-120	EF-120
	本数	58	70	66
	直列	2	2	2
	並列	29	35	33
N2 源*	N2 純度 [%]	-	99.9	99.9
	総N2 流量 [Nm3/h]	-	56.3	31.8
真空源	真空度 [Torr]	25	50	25
	排気量 [m3/min]	15	23	33

※ N2源: PSA方式によるN2発生器を想定

【コスト比較】



【スペース・重量比較】



SEPARELの場合、
真空モードでも、N2コンボモードと比べて、

- ・イニシャルコスト：安価
- ・ランニングコスト：安価
- ・体積：小
- ・フットスペース：小
- ・重量：軽

- 本資料記載のデータは御参考までに掲げた一例に過ぎません。
- 本資料は、弊社内試験及び信頼し得ると思われるデータによるものでありますが、その正確性について責任を負うものではありません。ご使用者様の責任のもとで最終的にご判断いただき、ご使用ください。
- お客様でのご使用、設置、その他の取り扱いにつきましては、当社では一切の責任を負いかねます。お客様の責任において、ご使用、設置、お取り扱いください。

www.separel.com

DIC株式会社

アプリケーションマテリアルズ製品本部 メンブレン営業部

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20 ディーアイシービル

お問い合わせ：TEL:03(6733)5944 FAX: 03(6733)5960

membrane-inquiry@ma.dic.co.jp

